

令和3年度
生物多様性に関する企業意識アンケート
報告書

(環境局 環境都市推進部 環境共生担当課 実施)

～実施概要～

調査目的	生物多様性保全の取組を推進するための基本指針である「生物多様性さっぽろビジョン」に基づく施策をより効果的に推進するため、事業者の生物多様性に係る意識やニーズを的確に把握する。
調査時期	令和4年1月21日(金)～2月18日(金)
調査方法	ホームページ上に回答用紙、回答フォームを掲載
調査対象	札幌市内全事業者
周知方法	・札幌商工会議所メールマガジン：約5,000件 ・さっぽろ産業ポータル((財)さっぽろ産業振興財団)：約1,700件 ・環境中間支援会議・北海道の連携組織のHP・メールマガジン ・北海道グリーン購入ネットワークメーリングリスト：約90団体 ・さっぽろエコメンバー事業者等郵送による周知：1,603事業者
回収数	405件(郵送：14件、FAX：87件、WEB：304件)

～目次～

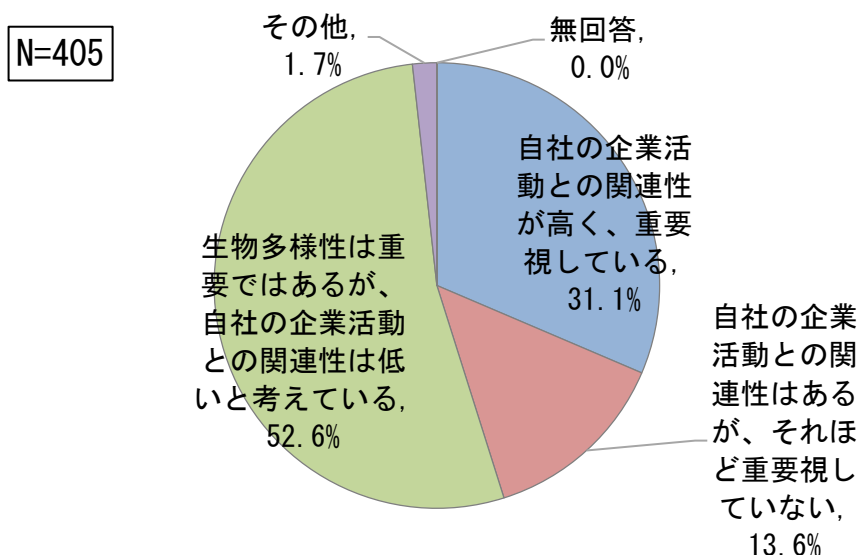
- ・生物多様性と企業活動のあり方に関する意識・・・・・・・・・・ P 2
- ・生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合・・・・・・・・ P 3
- ・生物多様性保全の取組の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- ・生物多様性保全と費用の関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- ・これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組・・・ P 8
- ・他者が行う生物多様性保全の取組の中で関心のあるもの・・・ P 10
- ・生物多様性保全の取組に必要な支援・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11

令和4年4月
札幌市環境局

(1) 生物多様性と企業活動のあり方に関する意識

【問1】貴組織では、生物多様性の保全への取組と企業活動のあり方についてどう思われますか。1つ選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組と企業活動のあり方について、「自社の企業活動との関連性が高く、重要視している」は 31.1%

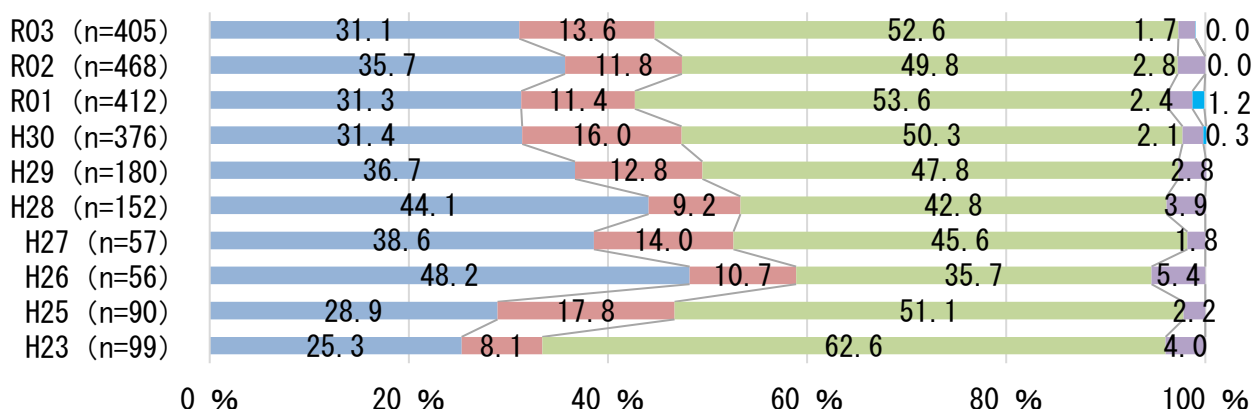


○その他の記載内容

- ・今迄は特別に考えた事がなく今後考えて行きます。
- ・関連ないとは思わないが意識が低くあまり知られていない。

○過去のアンケート結果との比較

「自社の企業活動との関連性が高く、重要視している」の割合は 31.1%と、令和2年度の 35.7%から 4.6 ポイント減少した。

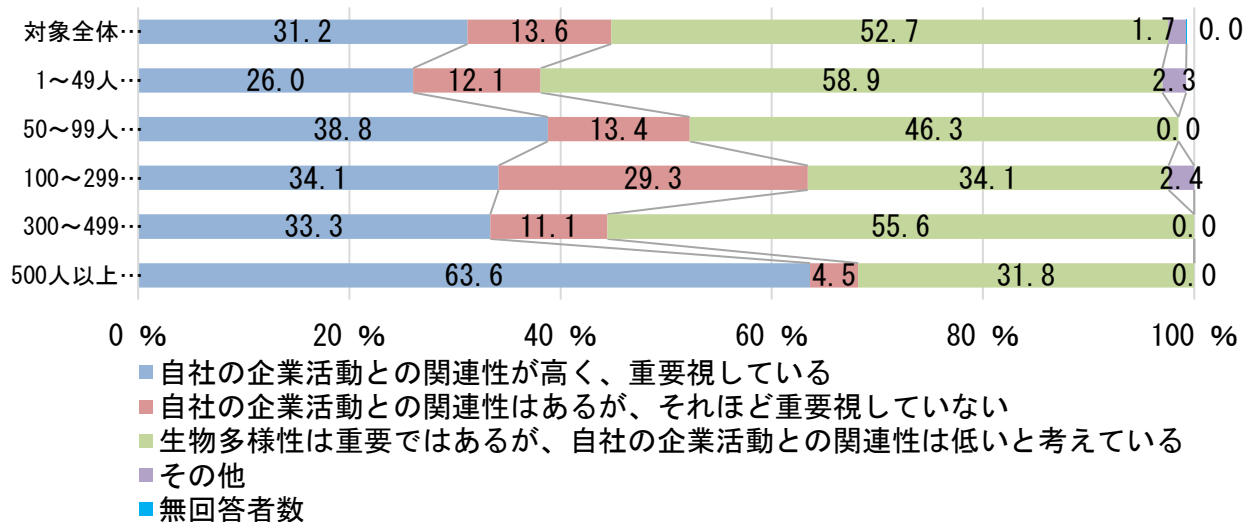


- 自社の企業活動との関連性が高く、重要視している
- 自社の企業活動との関連性はあるが、それほど重要視していない
- 生物多様性は重要ではあるが、自社の企業活動との関連性は低いと考えている
- その他
- 無回答者数

○従業員数別の結果

「関連性が高く、重要視している」の割合が最も高かったのは従業員数 500 人以上の企業だった。一方で、「関連性が高く、重要視している」の割合が最も低く、「関連性が低い」の割合が最も高かったのは企業数の最も多い 1~49 人の企業だった。

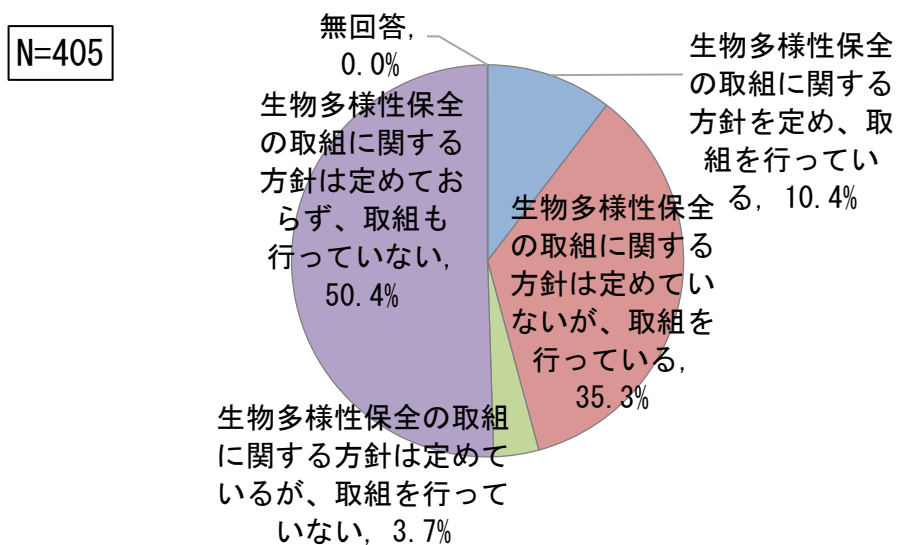
また、100~299 人の企業において「関連はあるがそれほど重要視していない」の割合が顕著に高かった。



(2) 生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合

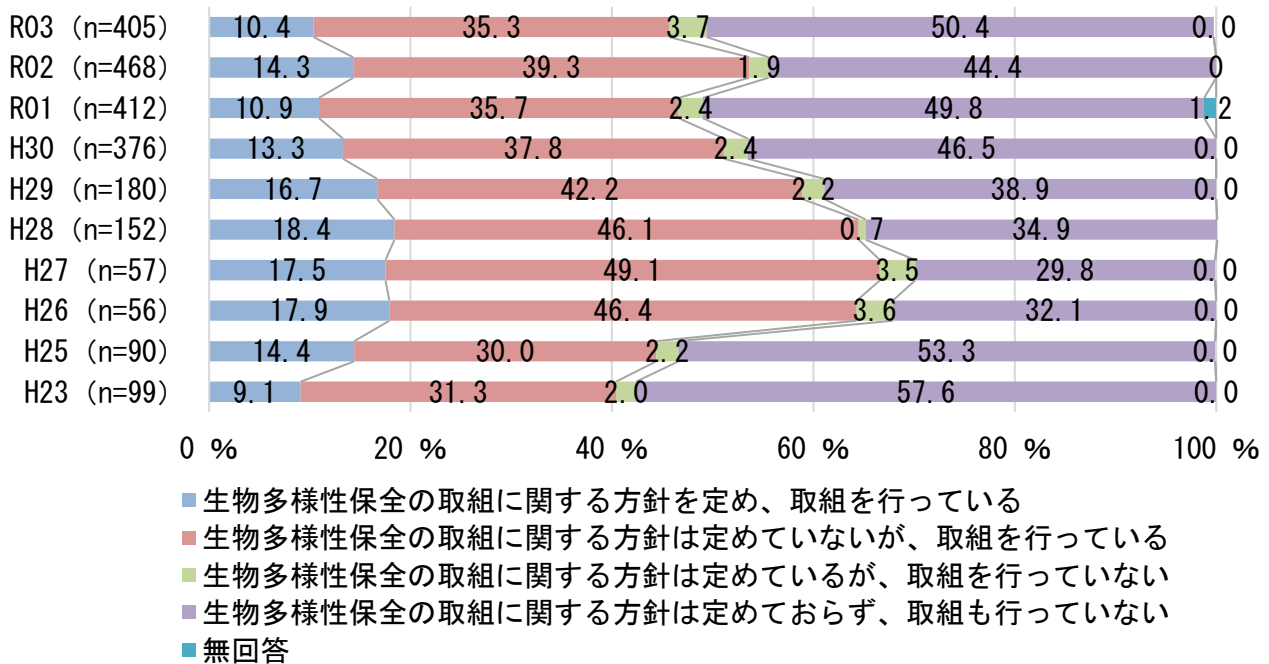
【問 2-1】貴組織では、環境に対する経営方針あるいは事業活動の中で、生物多様性の保全への取組について、どのように位置付け、取り組んでいますか。1つ選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組について、「方針を定め、取組を行っている」 + 「方針は定めていないが、取組を行っている」は 45.7%



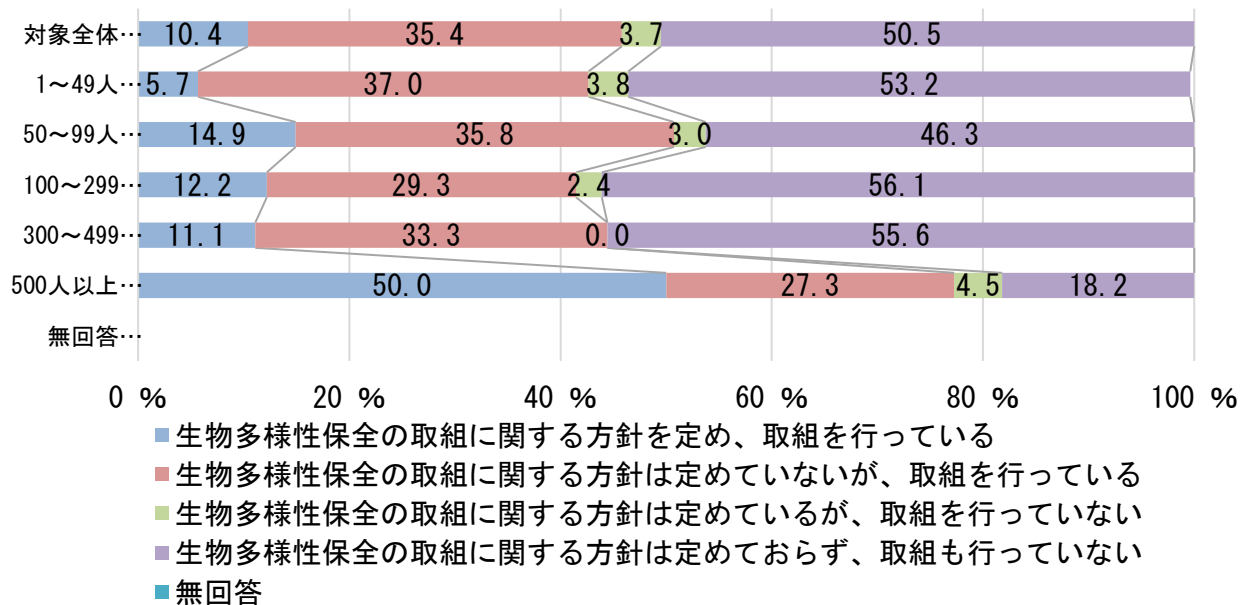
○過去のアンケート結果との比較

取組を行っている企業の割合は、令和2年度から7.9ポイント減少した。



○従業員数別の結果

取組を行っている企業の割合が最も高かったのは従業員数 500 人以上の企業だった。また、取組を行っている企業の割合が最も低かったのは従業員数 100～299 人の企業で、41.5%であった。



(3) 生物多様性保全の取組の内容

【問 2-2】問 2-1 で①（方針を定め、取組を行っている）、②（方針は定めていないが、取組を行っている）とお答えになられた方にお伺いします。生物多様性の保全への取組として、貴組織が行っているものをすべて選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組として、「本来業務における生物多様性への配慮」が 76.2%、 「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」が 45.4%
--

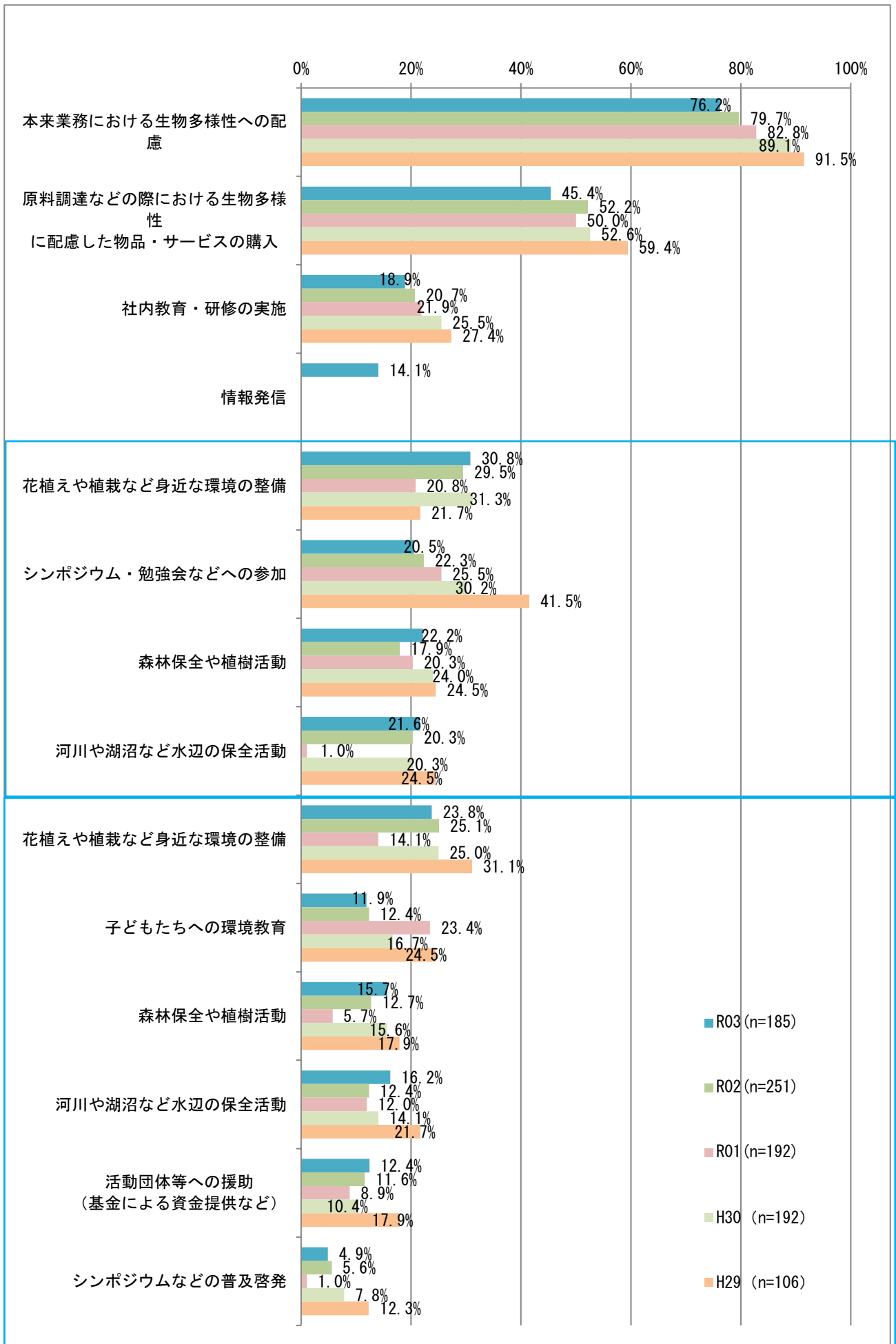
○その他の記載内容

- ・アダプト活動で公園の環境保全活動（自社主催の取組）

○過去のアンケート結果との比較

「本来業務における生物多様性への配慮」は 76.2%と、令和 2 年度から 3.5 ポイント減少し、2 年連続で 80%を下回った。また、「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」は、45.4%と、目標を達成できなかった。

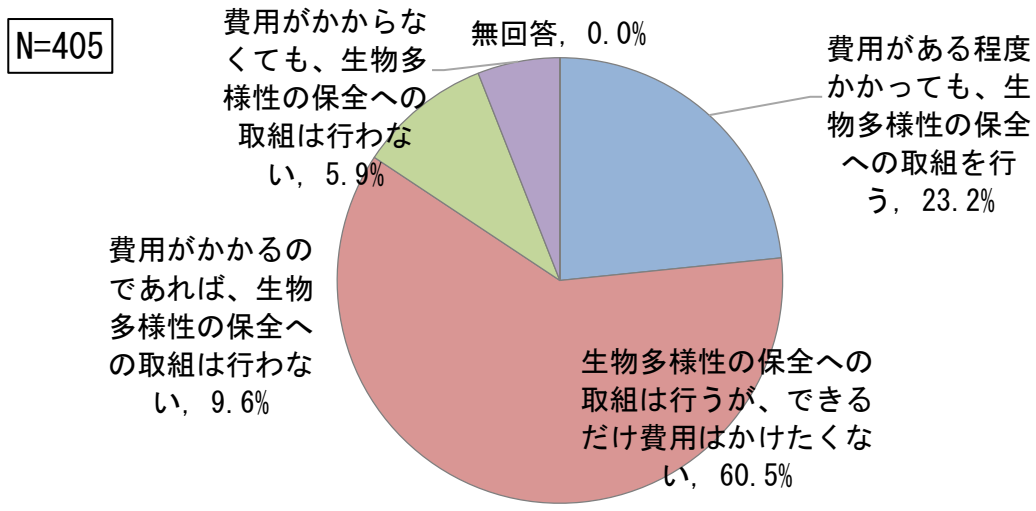
今年度より回答の選択肢に加えた「生物多様性の保全への取組に関する情報発信」については、14.1%だった。



(4) 生物多様性保全と費用の関係

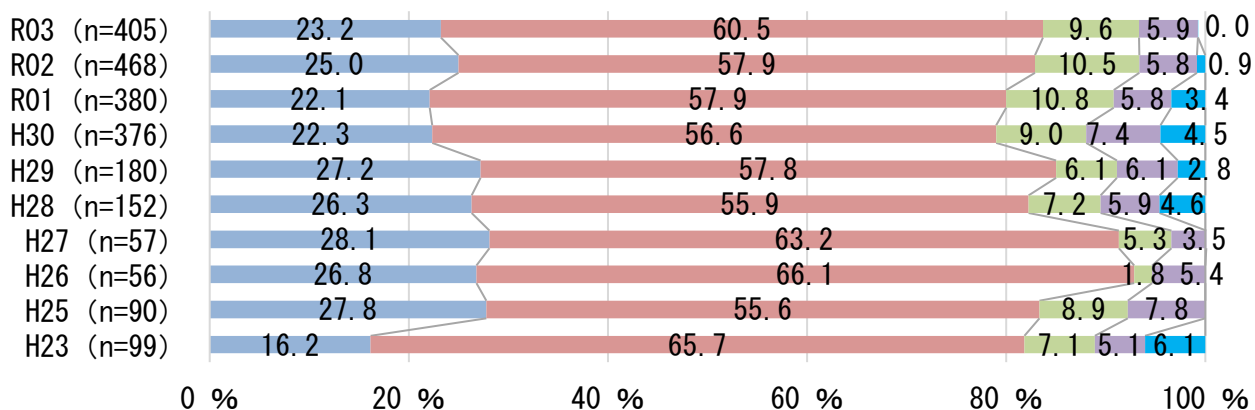
【問 3】生物多様性の保全への取組を実施する際の貴組織の考え方として、当てはまるものはどれですか？

生物多様性の保全への取組を実施する際の考え方として、「生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない」が 60.5%



○過去のアンケート結果との比較

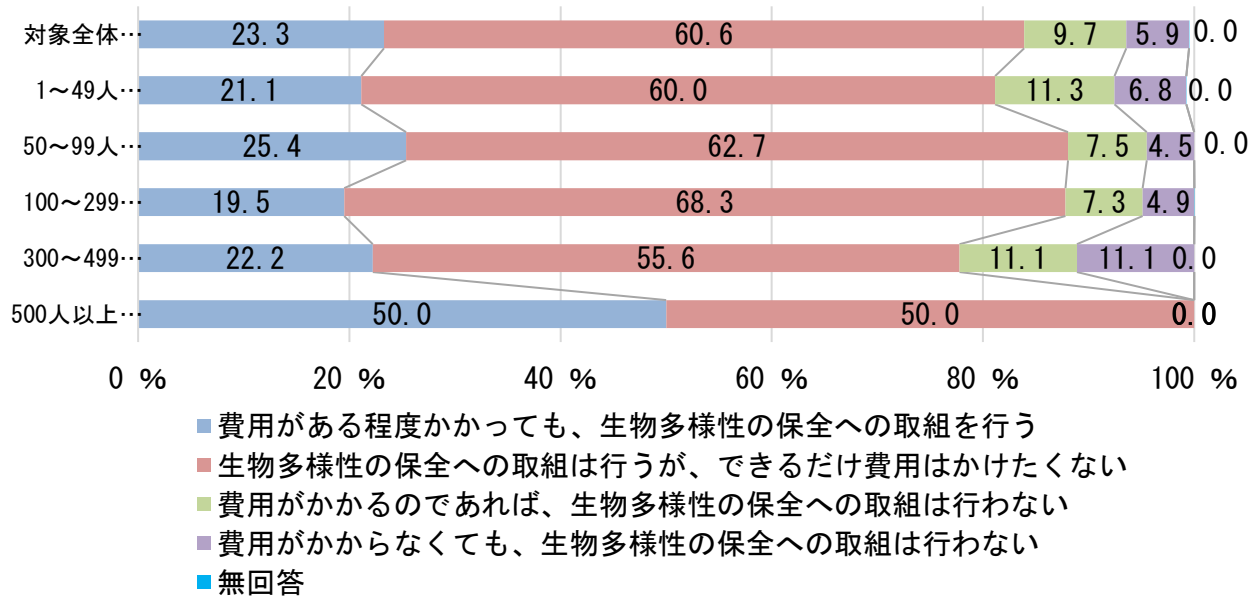
生物多様性の保全への取組を行う意思のある企業（「費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う」＋「生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない」）の割合は、3年連続 80%以上と高い割合で推移している。



- 費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う
- 生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない
- 費用がかかるのであれば、生物多様性の保全への取組は行わない
- 費用がかからなくても、生物多様性の保全への取組は行わない
- 無回答

○従業員数別の結果

全ての区分において75%以上が「生物多様性保全の取組を行う」と回答した。500人以上の企業において「費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う」の割合が50.0%と最も高かった



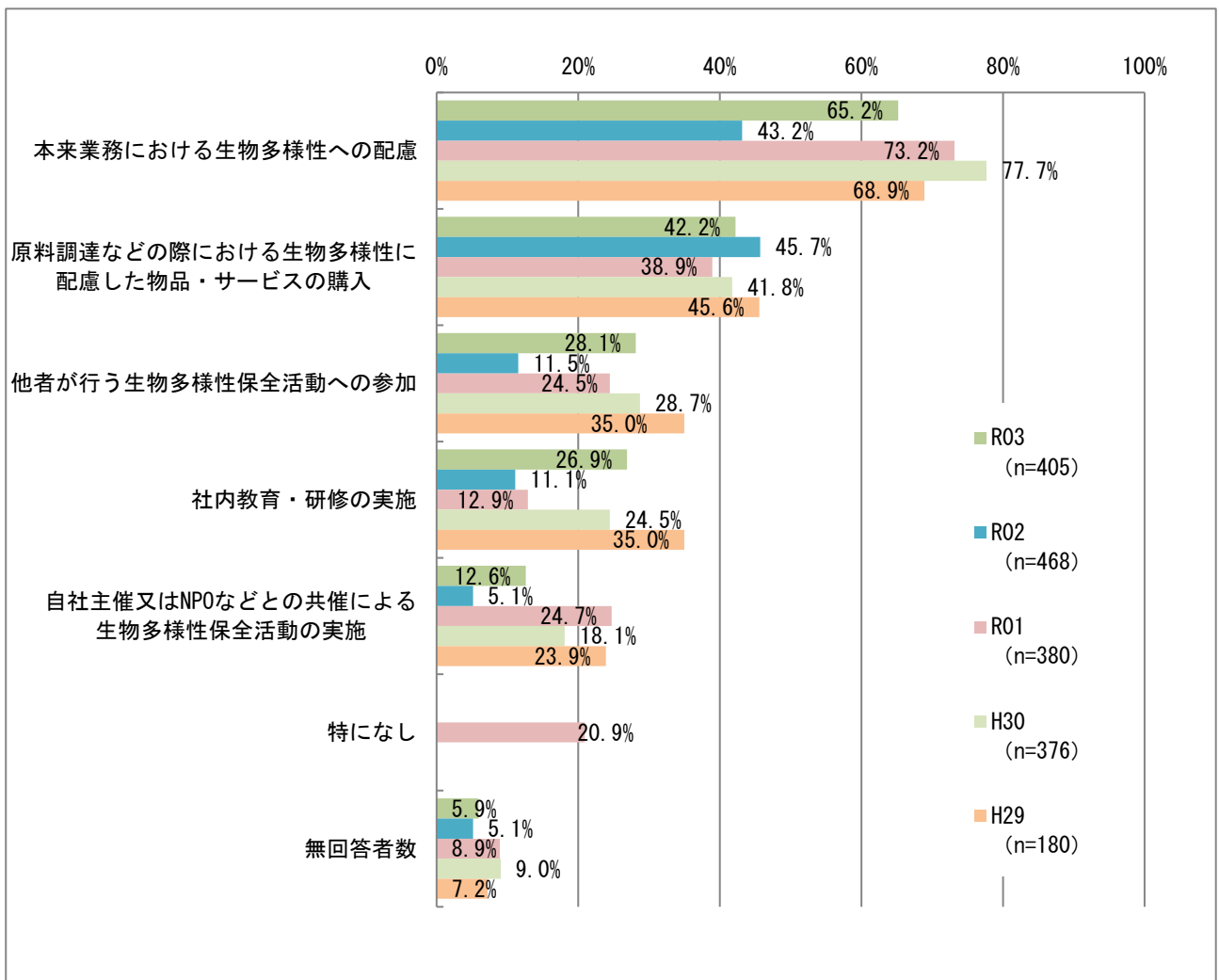
(5) これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組

【問 4-1】生物多様性の保全への取組として、貴組織がこれから行いたいと考えているものをすべて選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

これから実施したいと考えている生物多様性の保全への取組として、「本来業務における生物多様性への配慮」が65.2%

○これまでのアンケート結果との比較

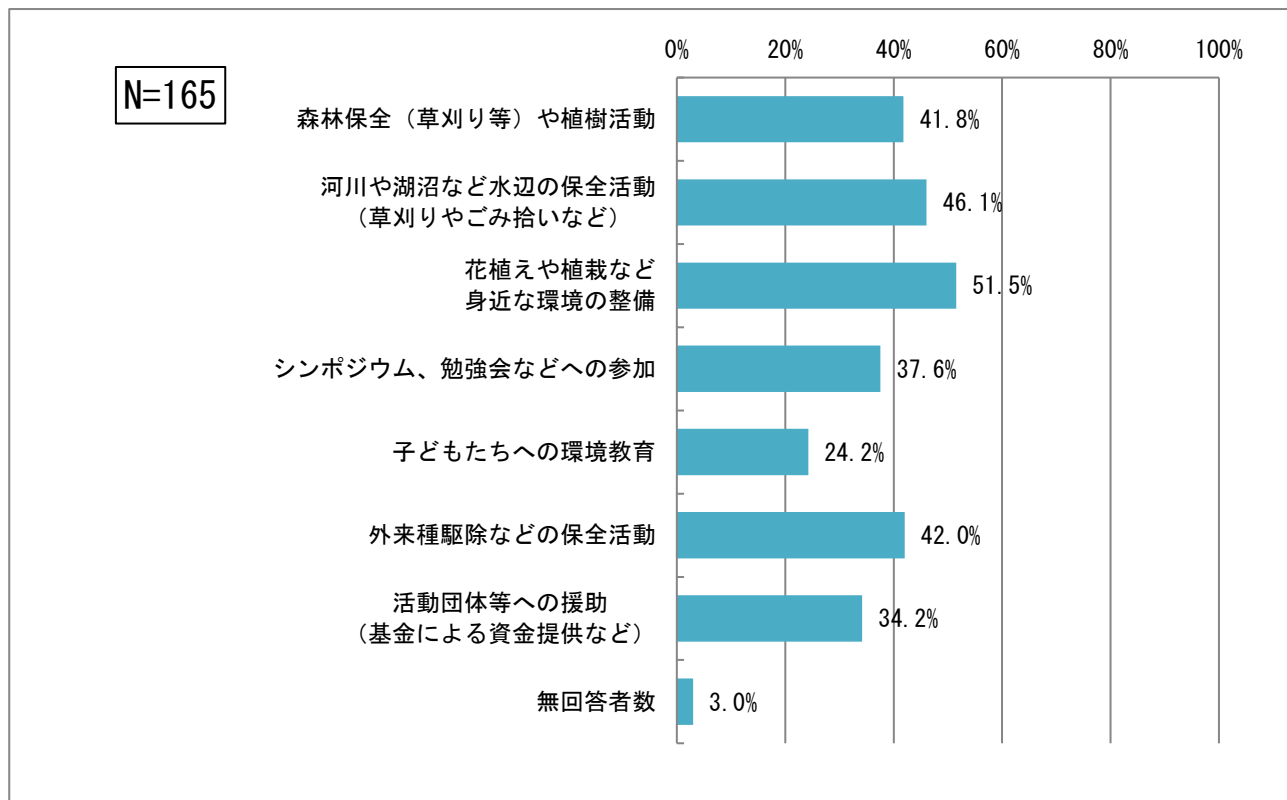
「本来業務における生物多様性への配慮」、「他社が行う生物多様性保全活動への参加」、「社内教育・研修の実施」「自社主催又はNPOなどとの共催による生物多様性保全活動の実施」において、大幅に減少した令和2年度から増加が見られた。また、「原料調達などの際における生物調整に配慮した物品・サービスの購入」は令和2年度より3.5ポイント減少した。



(6) 他者が行う生物多様性保全の取組の中で関心のあるもの

【問 4-2】貴組織が関心を持っている他者（活動団体等）が行う生物多様性保全活動の取組をすべて選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

関心を持っている他者（活動団体等）が行う生物多様性保全活動の取組として、「花植えや植栽など身近な環境の整備」が 51.5%



(7) 生物多様性保全の取組に必要な支援

【問5】今後、貴組織が生物多様性の保全への取組を進めていくための支援として、何が重要だと考えますか。当てはまるものすべてを選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

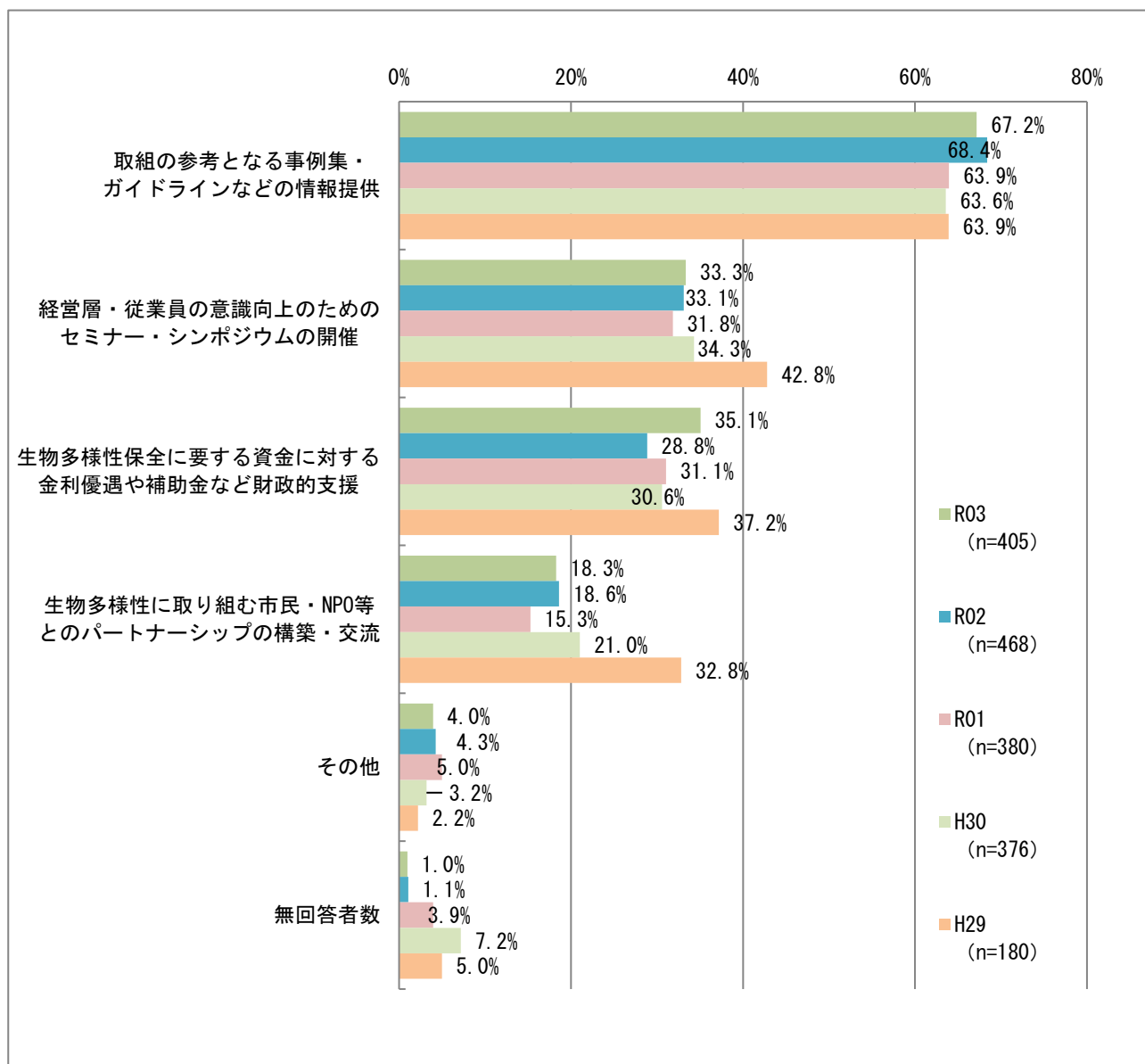
生物多様性の保全への取組に必要な支援として、「取組の参考となる事例集・ガイドラインなどの情報提供」が67.2%

○その他の記載内容

- ・まずは知ることだと思います。生物多様性って何が大多数だと思います。
- ・「生物多様性の保全」が重要となった歴史的経緯と公的機関と民間企業の役割とゴールについてより詳しい情報が必要。
- ・保全の取組に対する人的な余裕（人手不足）
- ・ covid-19 の収束

○過去のアンケート結果との比較

概ね前年度と同じ水準であり、ビジョン策定時から緩やかな減少傾向にある。



(8) 回答企業について

